

疎開保育時のものと思われる農村での保育者と子どもたち（母子愛育会蔵）。



戦時下において
母性とは、
どうとらえられてきたか？



本集成は雑誌「愛育」第1巻第1号（1935年7月）～第10巻第11号（1944年11月）を第1～7巻に収録。雑誌中央は1935年の創刊号表紙。下は「愛育新聞」第4号表紙。



三田谷啓、倉橋惣三、青木誠四郎ら、保育、医療衛生、社会事業、心理学等、各方面の第一人者が横断的に協力し、全国的な母子保護運動を展開した愛育会——
戦時下における母性・児童保護の真情を写す豊富な資料、全国各地にまで及んだ調査、啓蒙の足跡を伝える創設以来の雑誌「愛育」「愛育新聞」はじめ、現在ではほぼ入手困難となった希少な冊子、パンフレット類を、恩賜財団母子愛育会の協力を得て一挙に復刻するはじめての試み！

戦前期 愛育会 関係資料集成

全4回配本 全11巻

協力 恩賜財団母子愛育会
推薦 網野武博・穴戸健夫
解説 湯川嘉津美（上智大学教授）

■愛育研究所全景（母子愛育会蔵の絵葉書より）。



▶幼児教育資料アーカイブ2◀

戦前期 愛育会関係資料集成

全4回配本
全11巻

解説◎湯川嘉津美（上智大学教授） 資料協力◎恩賜財団母子愛育会・金沢大学附属図書館
推薦◎網野武博（現代福祉マインド研究所所長・恩賜財団母子愛育会評議員）
穴戸健夫（愛知県立大学名誉教授・幼児教育史学会前会長）

想定価◎揃本体 220,000円＋税
体裁◎B5判・上製・布クロス装／合計約5900頁〔2面付〕
主な収録内容◎『愛育』1巻1号-10巻8号（1935年7月-44年11月、計110号）、『愛育新聞』1巻1号-6巻10号（1938年4月-43年10月）、『愛育のこころ』（1940年）、『愛育叢書』全6輯（1936-39年）、『こども愛育展覧会記念帖』（1936年）、『戦没者遺族保育所保母養成講習会記念帖 いざゆかんふたばの護りに』（1940年）、『愛育村の組織と事業』（1939年）（編集・発行 愛育会）ほか多数！



■『愛育のこころ』チラシより

●配本

配本	収録巻	本体価	ISBN-No	刊行
第1回配本	第8・9巻（全2巻）	40,000円＋税	978-4-8350-8356-8	2020年5月刊行
第2回配本	第10・11巻（全2巻）	40,000円＋税	978-4-8350-8359-9	2020年7月刊行
第3回配本	第1-3巻（全3巻）	60,000円＋税	978-4-8350-8362-9	2020年12月刊行
第4回配本	第4-7巻（全4巻）	80,000円＋税	978-4-8350-8366-7	2021年2月刊行

お薦め先 幼児教育、保育、子ども学、児童養護、近現代史、社会事業史、公衆衛生史、民俗学等の研究者、公共機関等

●幼児教育資料アーカイブ
本シリーズは、日本の保育者たちが現場で子ども達に向き合うなかで直面し、克服していった数々の貴重な試み、その豊かな遺産を、可能な限り後世に残すものです。幼児教育、保育の分野において、貴重であるにもかかわらず、十分に保存・共有がなされたとはいえない文献、実践記録、日誌等の資料を提供する「幼児教育資料アーカイブ」、ぜひ幼児教育史研究の礎としてご活用下さい。 不二出版

好評の
関連図書！



幼児教育資料アーカイブ1
復刻版 関西連合保育会雑誌 全2巻
解説——湯川嘉津美
資料協力——大阪市立愛珠幼稚園・大阪市教育センター
定価——揃本体価 36,000円＋税 ISBN 978-4-8350-8311-7
体裁——B5判・上製・布クロス装・総約1,000頁
戦前期の保育界をリードし続けた、大阪、京都、神戸、岡山、名古屋など各地の保育会における現場の保育者の実情を詳述！『京阪神連合保育会雑誌』を改題した『関西連合保育会雑誌』（1928-51年）を可能な限り全収録。ほかに『幼稚園に於ける郷土教育』（大阪）『関西連合保育会提出遊戯』（神戸）等の周辺資料も網羅する幼児教育・保育の必見資料群がついに復刻！

●収録内容
I 関西連合保育会雑誌
『関西連合保育会雑誌』51-55号（1928年8月～38年8月、全5号収録）
『第四十九回 関西連合保育会誌』（1947年）
『第五十五回 関西連合保育大会協議会誌』（1951年）
II 関西連合保育会関連資料
『幼稚園に於ける郷土教育』大阪市保育会（1933年）
『第四十回 関西連合保育会提出遊戯』京都市保育会（同）
『関西連合保育大会提出遊戯』吉備保育会（同）
『関西連合保育会提出遊戯』神戸市保育会（同）
『第六回全国幼稚園関係者大会 提出問題意見発表』大阪市保育会（1935年）



日本におけるカリキュラム・マネジメントの淵源を大正期に探る！
大正新教育 学級・学校経営重要文献選
編集・解説——橋本美保・遠座知恵
推薦——天笠茂・佐藤学
想定価——揃本体価 180,000円＋税
体裁——A5判・上製・布クロス装・総約4,000頁〔各巻約400頁〕
カリキュラム・マネジメントをどのように考えるか？当時の教育者、実践家たちの理想と実践を理解するために欠かせない、大正新教育期における学級経営、学校経営の重要な文献・論考を精選する、はじめての文献・論文選集。澤正『学級経営』はもちろん、及川平治や西山哲治など明治期の教育者をはじめ、北澤種一、木下竹次、野村芳兵衛、齋藤諸平、赤井米吉などの幅広い論考、約60点を収録。——大正新教育の教育実践が、今よみがえる！

●第I期 高等師範学校における学級・学校経営
第1回配本 第1-3巻 ●本体価54,000円＋税（2019年7月刊行）ISBN978-4-8350-8283-7
第2回配本 第4-6巻 ●本体価54,000円＋税（2019年12月刊行）ISBN978-4-8350-8287-5
●第II期 師範学校付属小学校・公立校・私立校における学級・学校経営
第3回配本 第7-10巻 ●本体価72,000円＋税（2020年5月刊行）ISBN978-4-8350-8291-2

不二出版
〒112-0005 東京都文京区水道2-10-10
TEL 03-5998-1167 FAX 03-5998-0054
振替口座 001600229400854

表示価格はすべて税別

不二出版

『戦前期 愛育会関係資料集成』

刊行にあたって

湯川 嘉津美

恩賜財団母子愛育会は、一九三四（昭和九）年三月に皇太子の誕生を記念して下賜された内帛金を基金として設立された団体であり、戦前・戦時下の日本において「児童及母性二対スル教化並ニ養護」に関する各種事業を展開し、母子保健や乳幼児の保護と教育、母親教育の推進に指導的な役割を果たした。愛育会では、医学、心理・教育、社会事業関係の一四名の調査委員会委員に事業内容の決定と運営を委嘱した。このうち医学関係では三田谷啓（三田谷治療教育院長）や広瀬興（中野組合病院院長）、心理・教育学関係では青木誠四郎（東京帝国大学助教授）や岡部弥太郎（立教大学教授）、倉橋惣三（東京女子高等師範学校教授）などが委員として名を連ねており、発足したばかりの愛育会は、彼らの活躍の場ともなった。

愛育会では、出生率や乳幼児の死亡率、乳幼児の身体および精神発育、乳幼児保育方法に関する調査を実施すると同時に、愛育事業従事者講習会や「こども愛育展覧会」の開催、機関誌『愛育』や『愛育新聞』の発行、『愛育読本』や愛育叢書の出版、愛育村の指定、愛育研究所の開設といった事業を行い、さらに季節保育所保母や保健婦の養成にも力を入れていくこととなる。

今回、不二出版より『戦前期 愛育会関係資料集成』として、『愛育』『愛育新聞』をはじめとして、戦前・戦時下の愛育会の活動を窺うことのできる貴重な資料が復刻されることとなった。いずれも現在では手に入りにくい資料ばかりであり、この分野の研究を志す者として、本集成の刊行は望外の喜びである。

愛育事業において大きな役割を果たした倉橋惣三は、

一九三五（昭和一〇）年七月の『愛育』創刊号に次のように創刊の辞を寄せている。「家庭と社会とに於ける一切の愛育に對して、如何にせば最もよく貢献することを得べきか。問題は広い。事業は多い。……本誌は先づ本会の使命たる愛育の真義の普及・徹底に役立ちたい。家庭にある母、乳幼児保育者、母と児童保護に関する社会事業家及び社会教育家等、愛育の實際に當たる諸君のためによき伴侶でありたい。更に本会自身の機関誌たると共に、全国愛育事業の総機関誌たらんことを期する。殊に、愛育事業各方面の連絡は目下の必須の急務であり、本会の進んでその任に當らんとするところであるが、そのために小さき奉仕機関たらんことも亦本誌の願ひである」と。この倉橋の言葉の通り、『愛育』（第一巻第一号、第一〇巻第一号）には、愛育事業全般にわたる論説や研究、指導事項、各種情報が掲載されており、これをみれば、戦前・戦時下の日本における愛育会の活動状況を詳しく窺うことができるだろう。

一方、一九三八（昭和一三）年四月に創刊された『愛育新聞』は、愛育事業従事者を対象とする専門誌である。倉橋は『愛育新聞』の創刊号にも一文を寄せて、「我国の愛育事業が常に国家の意識の下にあることは、今日に始まったことではないが、今や一層この意識が強調せられてゐる以上、一層の充実と、改善とが我国の愛育事業に要求せられてゐるといはなければならない」と述べ、戦時下という時代状況において、国家的全体観をもって愛育事業を再認識する必要を説いている。そうした状況で『愛育新聞』は、愛育村や季節託児所などの事業実践に役立つ知識や「愛育会たより」といった各種記事を掲載して、愛育事業従事者に国家的急務へ対処するための専門的知見と情報とを提供したのであった。

このほか、本集成には『愛育日記』や『愛育叢書』（全六輯）、

愛育の精神による 献身的な事業の軌跡

網野 武博

愛育会（現・社会福祉法人恩賜財団母子愛育会）は、一九三三（昭和八）年二月二三日の平成天皇（現・上皇陛下）ご誕生を機に、昭和天皇から伝達されたご沙汰書並びに御下賜金をもとに創設されました。爾来、戦前そして戦中さらに戦後も一貫して母子保健・医療、保育・幼児教育、母子愛育活動等に関するきわめて先駆的な研究、事業を展開し、今日に至るまで八〇有余年にわたり様々な実績を残してきました。『戦前期 愛育会関係資料集成』には、その第一期に当たる創設当初からの約一〇余年にわたる雑誌『愛育』『愛育新聞』『愛育の葉』をはじめ愛育会の様々な事業の啓蒙的なパンフレット、調査研究の資料類が復刻され、いかに貴重な活動が展開されてきたかを辿ることができます。

私は、一九七〇年代後半から九〇年代前半にわたって、当時の母子愛育会の研究の要である日本総合愛育研究所に籍を置き、貴重な経験をさせていただきました。当時、日本には児童や母性に関わる総合的な国立研究所がなく、このため一九六四（昭和三九）年から愛育研究所が日本総合愛育研究所と称する国立の児童問題研究所に準ずる機関として位置づけられ、その役割は二〇一〇年代に至るまで半世紀以上にわたって果たされてきました。私は子どもの発達と福祉に関して、とくに心理学の立場から研究等に深く関わってきました。その経験を通して、愛育会・母子愛育会においては、愛育、愛護の精神に満ちた、時代を代表するすぐれた医学、心理学等々の諸先生方がいかに献身的に、その事業をすすめてこられたかを実感してきたひとりで、

心理学、教育学関係では、本資料集成のなかでもたびたび登場される倉橋惣三先生、青木誠四郎先生らは既にご逝去され、直接の薫陶を受けることはできませんでしたが、山下俊郎先生、牛島義友先生、竹田俊雄先生、森脇要先生は、まだ日本総合愛育研究所で活躍されておりました。とくに深く関わらせていただいた森脇先生、竹田先生にまつわることで触れるならば、戦時中の幼児の疎開保育を推進されるという、大変な業績をあげなければなりません。

この資料集成からも、激しい戦時下の防空対策などに関する記録を読み取ることができます。戦況が深刻になり、一九四四（昭和一九）年夏以降、学童疎開がすすむなか、同じように幼児期の子どもの生命、安全を守るため、国に疎開保育の必要性を訴えた森脇先生らが、実際に戸越保育所、愛育隣保館の保母たちによる子ども達の疎開保育を、埼玉県の無人寺ではじめたのは大戦末期の一九四五（昭和二〇）年五月のことでした。既に雑誌『愛育』は休刊となっており、疎開保育そのものに関する内容は残されていません。しかし、鑑賞された方も多いのではないかと思います。二〇一九（平成三二）年から上映された平松恵美子監督、脚本の映画『あの日オルガン 疎開保育園物語』は、愛育会の史実を元に、ノンフィクション作家・久保つぎこが著した『君たちは忘れない 疎開保育園物語』（草土文化社、一九八二年）をもとにして製作されたものです。

本集成を通じて愛育会の第一期における活動が、今日の日本の養育や子ども達の発達、保健、福祉に関する諸事業のさきがけとなってきた歴史を、種々参考にしていただければ、大変嬉しく思います。

（あみの・たけひろ 現代福祉マインド研究所所長、恩賜財団母子愛育会評議員）

『愛育の葉』（全八冊）、『子ども愛育展覧会記念帖』といった啓蒙的な冊子類から、愛育村関係の各種資料、愛育会事業報告など多様な資料を収録しており、母子保健や保育、幼児教育に関心を持つ研究者のみならず、心理学、社会教育、社会事業を専攻する者にも貴重な資料を提供してくれるだろう。

また、今日「子ども学」を冠する大学の学部や学科が増え、「子ども学」は一つの流行ともなっている。そうしたなかで、本集成が「子ども学」を歴史的な視座から検討するための基礎資料として活用され、「子ども学」の発展に寄与することを期待したい。（ゆかわかつみ・上智大学教授）

主な執筆者

倉橋惣三／三田谷啓／三木安正／河崎なつ／奥むめお
浦辺史／川崎大治／尾高豊作／和田實／青木誠四郎／與根忠夫
吉岡彌生／堀七藏／藤本薫喜／廣瀬興／平田のぶ／山室軍平
山下俊郎／波多野完治／波多野勤子／丸岡秀子／高島平三郎
森脇要／内藤壽七郎／友松圓諦／留岡清男／關敬吾／菅忠道
霜田静志／牛島義友／伊福部敬子／石井亮一／齋藤文雄
羽仁説子／長谷川如是閑／及川ふみ／柳田國男／金田一京助
谷川徹三／小川未明／岡本かの子／村岡花子／佐佐木信綱
水原秋櫻子／南屋音彦／三田村篤魚／松山文雄／松田解子
牧野富太郎／前島とも／日夏耿之介／長谷川時雨／中西悟堂
清水良雄／小林百夫／高良富子／合田好道／本山荻舟



母子愛育会蔵

本集成を 推薦 いたします

愛育の精神による献身的な事業の軌跡

網野 武博

さきがけとしての愛育会から学ぶ

穴戸 健夫

収録内容一覧

第1回配本 全2巻

第8巻 「愛育新聞」

「愛育新聞」1巻1号、6巻10号、6号欠

一九三八年四月、四三年一〇月

第9巻 啓蒙活動

〔啓蒙書など〕

愛育読本 「倉橋惣三・斎藤潔・青木誠四郎」三省堂

一九三五年

愛育のこころ こどもの保健と教養 「恩賜財団愛育会編」三省堂

一九四〇年

愛育のこころ 「チラシ」

愛育日記 妊婦用〔抜粋〕

一九三七年

愛育日記 産婦・乳児用〔抜粋〕

一九三七年

愛育日記のつけ方(産婦・乳児用)

一九三七年

愛育日誌 「金丸村愛育婦人会」

一九三七年

栄養手帳〔抜粋〕

一九四六年

赤坊の健康通信簿 乳児発育表

乳児発育表

—

妊産婦と幼児の食物 附・献立表 愛育叢書第1輯 「藤本薫喜」(述)

一九三六年

農繁期託児所の手引 保育の実際 愛育叢書第2輯 「倉橋惣三」(述)

一九三六年

季節保育所の衛生 愛育叢書第3輯 「広瀬興」(述)

一九三六年

農村を主にした妊産婦と幼児の食物 愛育叢書第4輯 「藤本薫喜」(述)

一九三七年

幼児のための集団遊戯 愛育叢書第5輯 「愛育会調査部編」

一九三八年

赤ちゃんから五六歳迄の理想的な子どもの衣服 愛育叢書第6輯 「氏家寿子」(述)

一九三九年

栄養給食の実施 都市保育所における 「小松文子」(述)

一九四〇年

農繁期保育所の在り方と保育の実際

一九四四年

季節保育所・乳幼児保育の仕方

一九四四年

正しい受胎調節法 愛育の葉1 「森山豊」

一九四八年

妊娠からお産までの心得 愛育の葉2 「森山豊」

一九四八年

正しい人口栄養の仕方 愛育の葉3 「内藤寿七郎」

一九四八年

正しい離乳の仕方 愛育の葉4 「内藤寿七郎」

一九四八年

子供の家庭看護 愛育の葉5 「広瀬興」

一九四九年

子供の寄生虫 愛育の葉6 「広瀬興」

一九四九年

子供の正しい扱い方 愛育の葉7 「平井信義」

一九四九年

こどもの質問の正しい導き方 愛育の葉8 「村山貞雄」

一九四九年

第2回配本 全2巻

第10巻 展覧会・講習会／愛育村

〔展覧会・講習会など〕

こども愛育展覧会記念帖

一九三六年

戦没者遺族保育所保母養成講習会記念帖 いざゆかんふたばの護りに

一九四〇年

こども愛育展覧会陳列品解説

一九三五年

農村こども愛育展覧会開催の指針 (謄写版)

一九三七年

こども愛育便覧 改訂

一九四二年

結婚と育児展覧会解説

一九四八年

〔愛育村事業〕

愛育村の組織と事業 昭和15年版

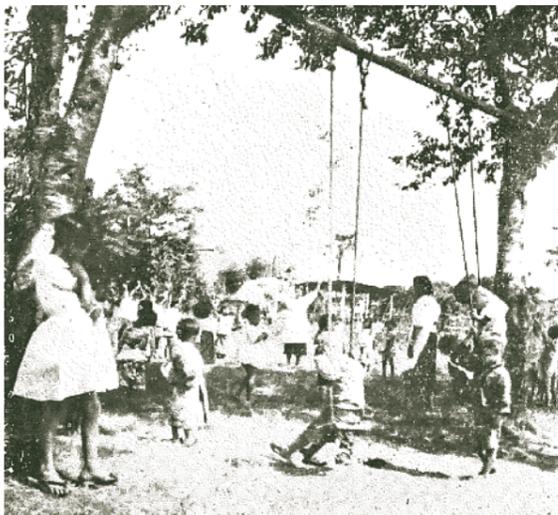
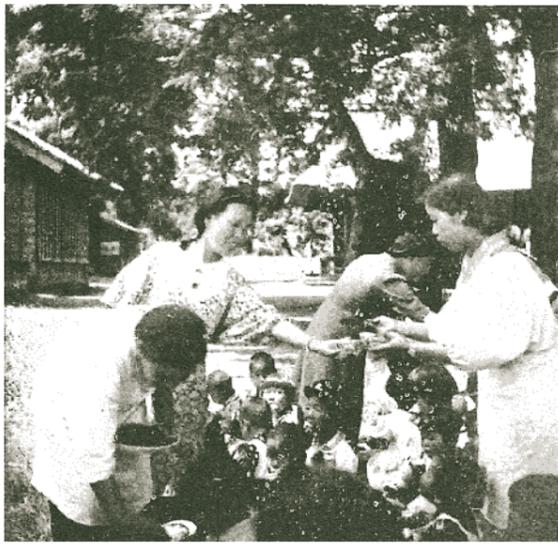
一九四〇年

愛育村ノ組織ト事業

一九三九年

愛育村の組織と事業 愛育村の葉

一九三九年



■農繁期保育所実習の様子。上から高部屋村、東秦野村、国府村(「いざゆかんふたばの護りに」1940年〔本集成第10巻収録〕)。

愛育班の組織と任務 愛育村の葉
分会の葉

母子栄養自給参考資料

一九四四年

金丸村の愛育事業 恩賜財団愛育会指定村 「石川県社会事業協会」

一九三八年

源村愛育事業に就て 昭和16年3月 「山梨県社会課」

一九四一年

愛育村方式による愛育地域組織の在り方(未定稿)

一九四四年

地域組織の育成 母子衛生を主として

一九四四年

第11巻 調査報告／事業運営

〔調査報告など〕

昭和10年道府県別 原因・月及日齢月齢別乳児死亡統計記述編

一九四〇年

北陸農村の母と子の実態 奥能登若山村の母子保健調査

一九四〇年

〔母子愛育会〕石川県衛生部・若山村隣保協会

一九五一年

乳幼児精神発達検査概説

一九四二年

〔牛島義友・木田市治・森脇要・入澤寿夫〕愛育研究所編／目黒書店

一九四二年

幼児検査補充問題 「ピュラール、ヘツツエル」

—

幼児検査追加問題(六、七、八歳児用)

—

〔事業運営〕

恩賜財団愛育会概要

一九三四年

恩賜財団愛育会要覧

一九三五年

恩賜財団愛育会事業報告 昭和13年度

一九三九年

児童及母性の心理、教化、衛生等に関する研究調査団体施設概況(代謄写)

一九三五年

本邦児童相談所概況

一九三七年

皇太子殿下御降誕記念施設調 「愛育会編」

一九三七年

〔附録〕

絵葉書(愛育研究所全景／児童観察室／小児病室)

—

愛育医院入院案内

一九四三年まで

第3回配本 全3巻

第1巻 「愛育」1

「愛育」1巻1号、2巻10号

一九三五年七月―三六年一〇月

第2巻 「愛育」2

「愛育」2巻11号、3巻10号

一九三六年一月―三七年一〇月

第3巻 「愛育」3

「愛育」3巻11号、4巻11号

一九三七年一月―三八年二月

第4回配本 全4巻

第4巻 「愛育」4

「愛育」4巻12号、5巻12号

一九三八年二月―三九年二月

第5巻 「愛育」5

「愛育」6巻1号、7巻2号

一九四〇年一月―四一年二月

第6巻 「愛育」6

「愛育」7巻3号、8巻7号

一九四一年三月―四二年七月

第7巻 「愛育」7

「愛育」8巻8号、10巻11号

一九四二年八月―四四年二月

※「解説」(湯川嘉津美)は第1巻収録予定。
※収録内容等は変更となる場合がございます。